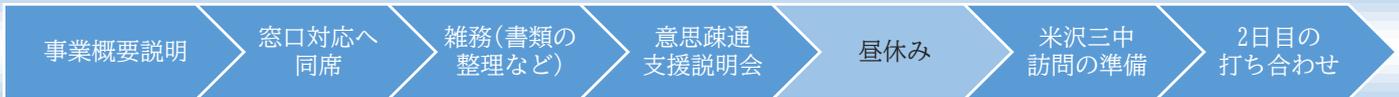


インターンシップ体験記 in 米沢市役所

社会情報学科 1年 Sさん

9月6日～8日に米沢市役所・社会福祉課でインターンシップを行いました。3日間の体験をここに綴りますので、見てくださった方の参考になれば幸いです！

【1日目】



1日目・2日目は障害者福祉を担当するところにお世話になりました。午前の窓口対応では、職員の方が障害者手帳に関する手続きを行うとともに、不安を抱えている人の話に耳を傾けていました。市役所は事務的な仕事が多いと想像される方もいらっしゃるかもしれませんが、こうして”現場の声”を聴くこともあります。また担当によっては外仕事が多いところもあります。私もその意外性に驚きました。午後からは、次の日の米沢三中訪問の準備を手伝いました。中学生に障害者の世界を体験してもらい、接し方を学んでもらうという目的で行われる体験学習。その最後に当事者としてスピーチをしてほしいという依頼を受けていたので、内容を確認しつつ着々と作業を進めました。

【2日目】



朝早く米沢三中に出向き最終準備をした後、いよいよ体験学習が始まります。車椅子体験の手本を示したり、白杖体験の際の誘導を行ったりしました。楽しみながらも真剣に向き合っている中学生を見て、福祉に貢献できているという実感が湧き始めました。そして最後のスピーチは緊張しながらも伝えたいことを話せたと思います。ここにスピーチを再現した文章を載せます。是非読んでみてください！

皆さんは「偏見」を持ったことやそれを払拭したことがありますか？考えてみてください。一少し難しい質問かもしれませんが、ともかく、偏見がない人はいないと思います！もしいるのであればすごいことです(笑)。では、私のような人に偏見を持つ人はいますか？正直言って、ほとんどの人がそうだと思います。またどんなイメージを持つでしょう？「勉強/運動ができない」「人の助けがないとやっていけない」、…強く言ってしまうと「社会的弱者」？色々思いつくかもしれませんが、少なくとも「助けがないとムリ!」はその通りです(笑)。

私は生まれつき聴覚障害があり、小・中学校では特別支援を受けていました。一中学生の時、衝撃の出来事が起こりました。それは忘れもしない、昼休みが終わり理科の授業が始まる前のことです。同級生の男子と話しているうちに話題は私の障害のことに移りました。その時、言われたのです。「お前って可哀想なやつだよな」と。教室中が凍りつきましたね(笑)。でも私はすぐに「不便だけど、不幸じゃない」と答えました。彼は納得してくれました。でもね、本当に不便なんですよ(笑)!

日常で困ることといえば、やはり買い物です。特にコンビニ!レジ先での会話が多いんですよね。消費税が10%になったら「こちらで召し上がりますか/テイクアウトですか」と聞かれ、袋にお金がかかるようになったら「袋いりますか/いりませんか」と聞かれ、他にも「温めますか」「ポイントカードありますか」とか。さらにコロナ渦になったら追い打ちをかけるようにマスク、アクリル板…。店員さんが何を言っているのか全然わからないんです。それで聞き取れなくてテキストに返事しちゃうことはよくあります(笑)。他の状況下でもそうですが、こんな時に聞き返すとなぜか嫌な顔をする人や萎縮する人がいるんですよね。その度に人の冷たさを痛感します。「ああ、意外と世の中は私に冷たいんだな…」と(笑)。でも!その分だけ、人の優しさを知っています。助けてくれる人の存在ってとてもありがたいですからね。すごく幸せなことだと思っています。

それでもやっぱり冷たい人や嫌がる人はいます。むしろそのような人の方が多いのかもしれませんが、でも、

嫌なら嫌でいいのです。私のような人に偏見を持ってくれてもいいのです。少なくとも”私は”構いません。あなたがその「偏見」に気づいた時、人として成長できます。今はできなくても、次私のような人に出会った時その人に優しくできるからです。

皆さん、たくさん偏見を持ってください。大切なのは、ここで完結せずにそれを壊していくことです。そのための「知識」、「経験」、「周りの人」です。これらはあなたの人生を豊かにします。皆さんは今進路に迷い始めている時期だと思います。私もです(笑)。だからこそこれらを多く手に入れましょう!きっとそれだけ選択肢が広がります。繰り返しになりますが、たくさん偏見を持ってください。そしてたくさん知識や経験を積み、周りの人とたくさん接してください。今しかできないこともあります。これは皆さんの特権です!

ですから、今日のこともどうか「ダルいな」「関係ない」で済ませず、1つの知識や経験としてとどめておいてください。必ずどこかで役立つ日が来ます。あるいはあなた自身を救ってくれるかもしれません。その時が来たら、私としても嬉しい限りです。

【3日目】

事業概要説明

個人宅訪問

雑務(システム
入力)

昼休み

デイサービス
施設訪問

個人宅訪問

3日目は生活福祉を担当するところにお世話になりました。午後のデイサービス施設訪問では、デイサービスを利用している高齢者への聞き取り調査を行いました。職員1人あたり約80世帯を担当し、高齢者の状態に合わせて年に数回訪問しています。個人に何かあった時に迅速に対応できるようにするためです。福祉サービスの充実さを感じると同時に、福祉が介入できる限界を感じました。しかし、一人ひとりに親身に寄り添いながら話している職員の方を見て、できることはまだまだあると思いました。福祉を仕事とし、提供している立場を体験してみて、改めて福祉について考える良い機会になりました。

今回の3日間のインターンシップで、実際に仕事をする環境に身を置いてみると今まで見えなかったものが見えるようになりました。働くことの大変さややりがいを実感したことはもちろん、自分の想像と現実とのギャップが埋まったことは大きな収穫でした。就活中の皆さん、自分自身を知るためや働く環境を知るためにも是非インターンシップに参加してみたいかがでしょうか?

